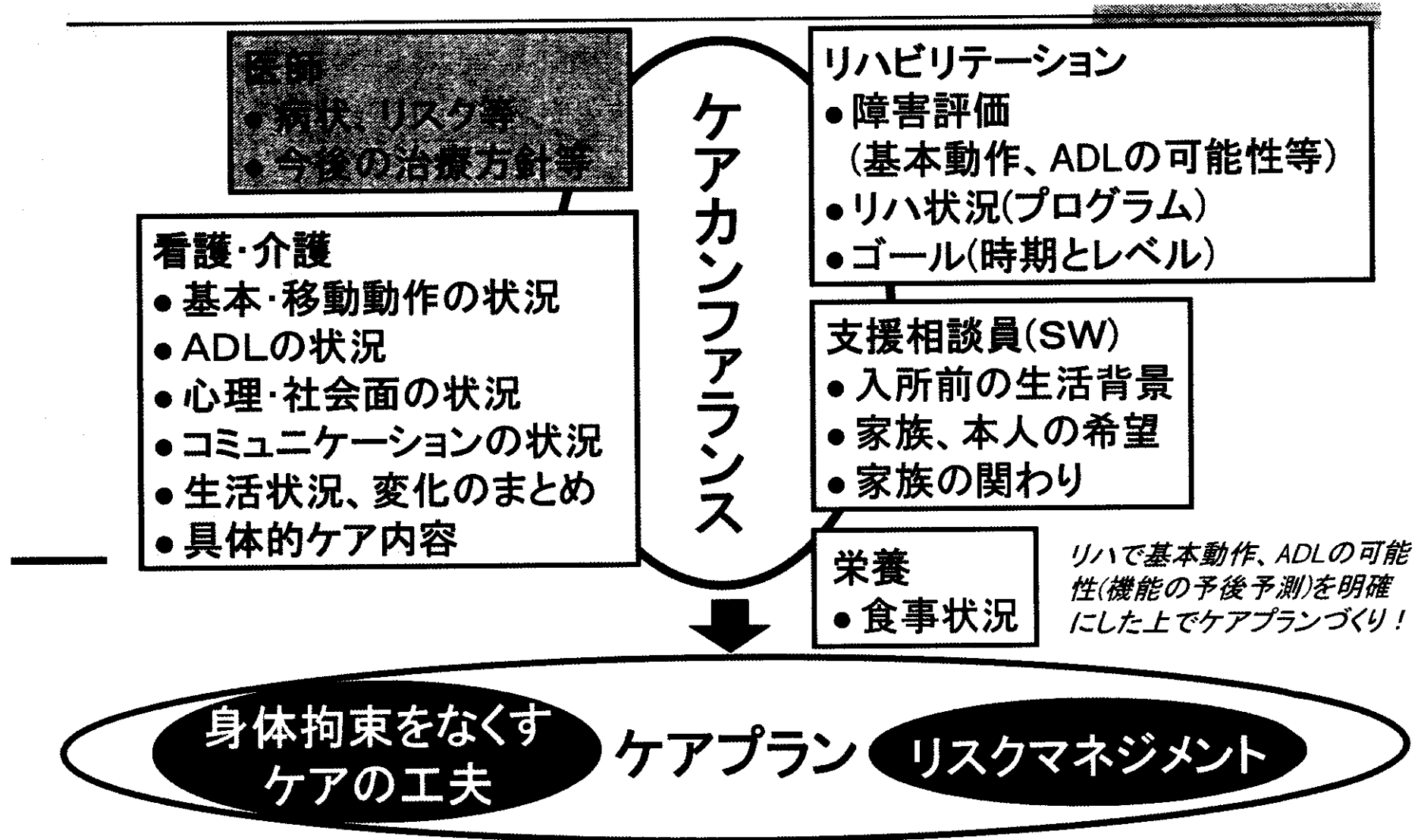


ケアプランとリハビリテーション



「南小倉地域ケアセンター」の 地域リハビリテーション活動

- 転倒予防教室
- 介護ふれあい体験事業
- ボランティア育成事業
- 職員ボランティア活動
- 地域学習会への協力

《教育・啓発活動》

《研修活動》

- 看護・福祉・リハヘルパー・その他

《ネットワーク活動》

専門職間の連携

- 介護サービス事業者連絡会 他

非・専門職

行政との連携

- あんしんサービス部会
- あいあいネット 他

行政との連携

- 地域ケア会議
- 苦情相談委員会
- サービス評価事業他

《直接的援助活動》

- 通所リハ(デイケア)
- 訪問看護・訪問リハ
- 訪問介護(ヘルパー)
- ケアマネジメントセンター
- 在宅介護支援センター
- テクノエイドセンター

- 在宅生活支援機能
- 在宅生活総合相談機能
- テクノエイド支援機能
- 地域連携・組織化機能
- 地域啓発機能

通所リハビリテーションの目的と機能

通所リハ

- 日常の継続した健康管理
(医学的管理)
- 心身機能の維持・改善
(リハビリテーション)

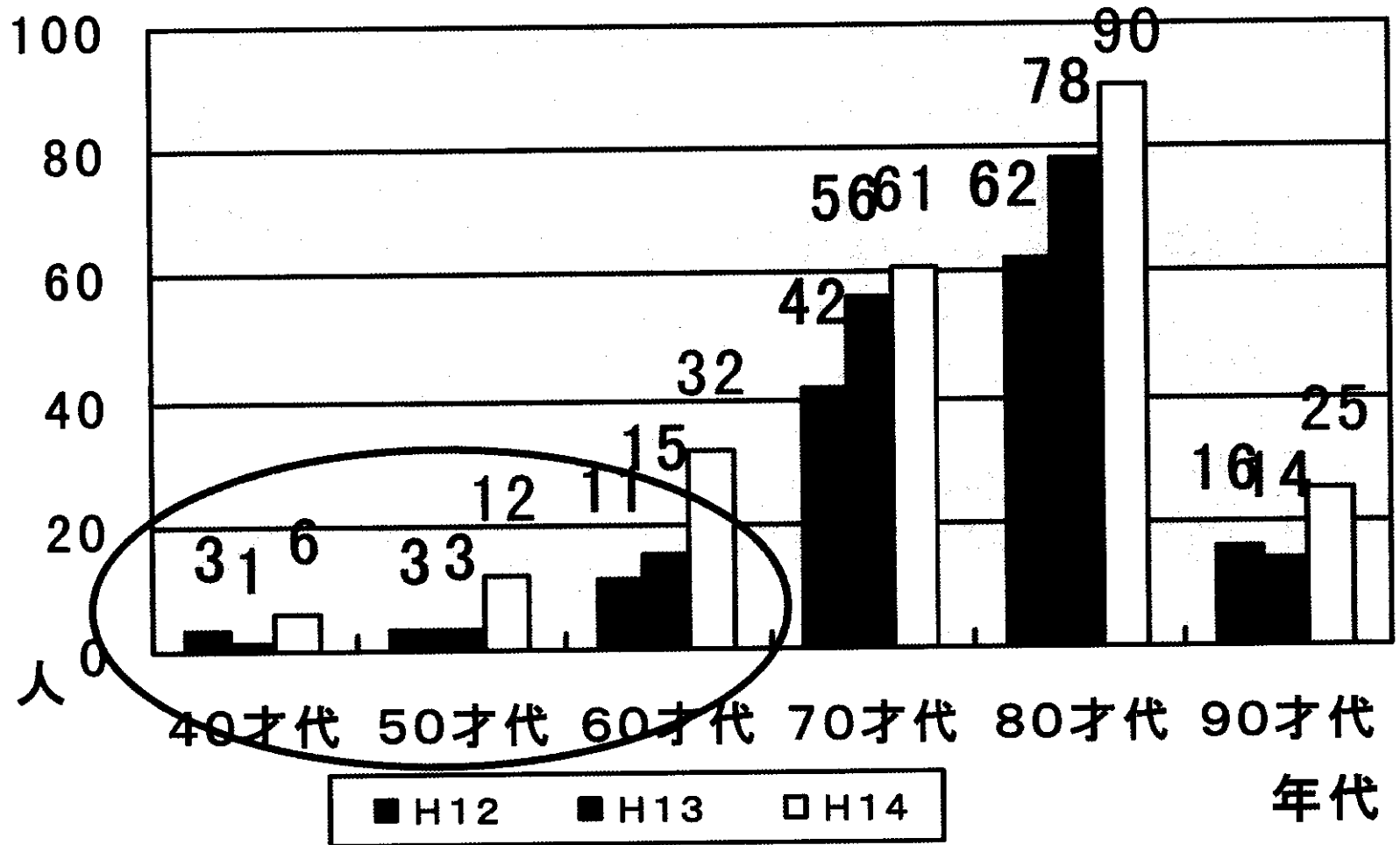
リハビリテーションの手段

- 個別リハ
- グループリハ(10人未満)
- 集団リハ
- 訪問(在宅生活の評価と指導)

- 閉じこもりの予防
(ソーシャルケア)
- 介護負担の軽減
(レスパイトケア)

通所介護は？

介護保険後 通所リハビリテーション利用者の年齢



通所リハビリテーションにおける試み

若年と高齢の通所リハを分離

若年の通所リハにはフィットネスを活用

- 高齢者の通所リハでは3グループに分けケア
(グループ・個別ケアへ)
 - ① 医学的管理、基本動作やADLの拡大を中心としたグループ
 - ② 痴呆を中心としたグループ
 - ③ IADLの拡大、活動的な取り組みを中心としたグループ
- 若年の通所リハにはフィットネス、IADL等空間の創設
 - ① 自己評価、目標設定、管理の試み

訪問リハビリテーションの対象者

病気や怪我で床につき体力や機能低下した方

障害が重度で外来リハや通所リハの利用が困難な方

各種サービスを受けているが機能低下が心配な方

訪問リハビリテーション

理学療法
作業療法

介護方法など生活の仕方に不安を感じている方

人との交流や外出に不安を感じている方

手すりの設置などの住宅改修や環境整備が必要な方

訪問リハビリテーションの目的・効果

1. 関節や筋肉の痛みを緩和します。
2. 関節や筋力の働きを保ち、日常生活の様々な動作をやりやすくします。
3. すべての動作を安全におこなうための工夫をします。
4. 体力の増強を図り、より活動的な生活を目指します。
5. 交通機関の利用などを通じ生活範囲の拡大を図ります。
6. 入浴、排泄、着替えなど日常生活動作が一人でも行えるよう援助や工夫をします。
7. 主婦業や家庭内のさまざまな仕事が一人生でも行えるよう援助や工夫をします。
8. 介護負担の軽減を図ります。
9. 介助や介護を安全におこなうための工夫をします。

連携があれば サービスの質は上がるのか？

—在宅サービスにおける連携と効果—

- 定期的ケア会議を、4年間以上実施している自治体
- 組織化の進捗状況を、活動評価表にて分類
30点以上:A群 20点以上:B群 20点未満:C群
- アンケート調査内容
①初期情報の確認状況 ②ニーズ評価の成否 ③サービス調整・提供時に抱えた問題や解決状況など

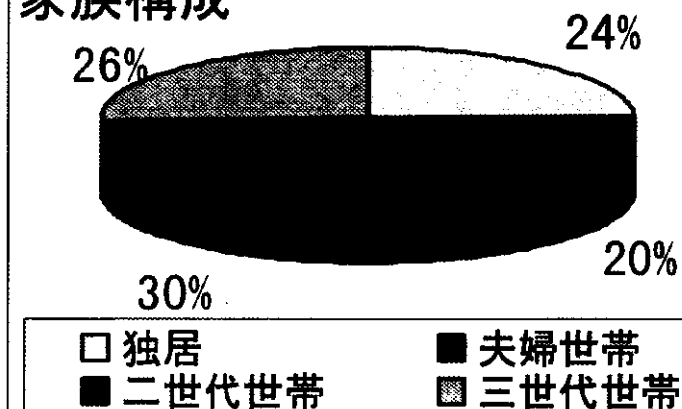
(長崎医療短大・松坂、小倉リハ病院・浜村)

対象

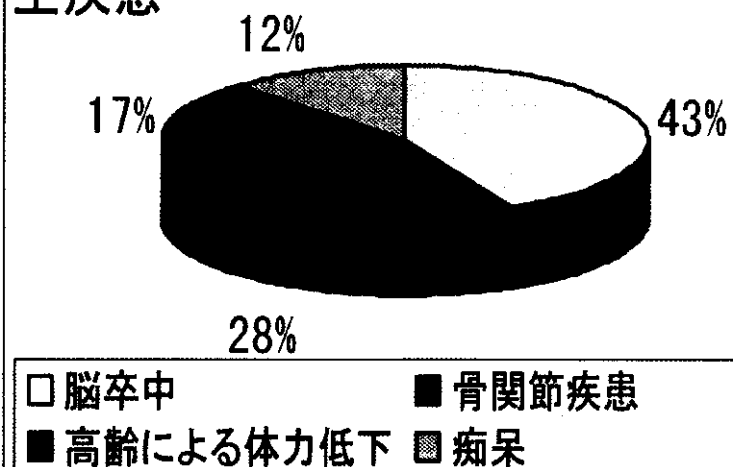
(長崎医療短大・松坂、小倉リハ病院・浜村)

		対象者数	平均年齢
A群	2町	189	77.4
B群	2町	254	80.0
C群	2町	172	79.0
全体	6町	615例	79.0歳

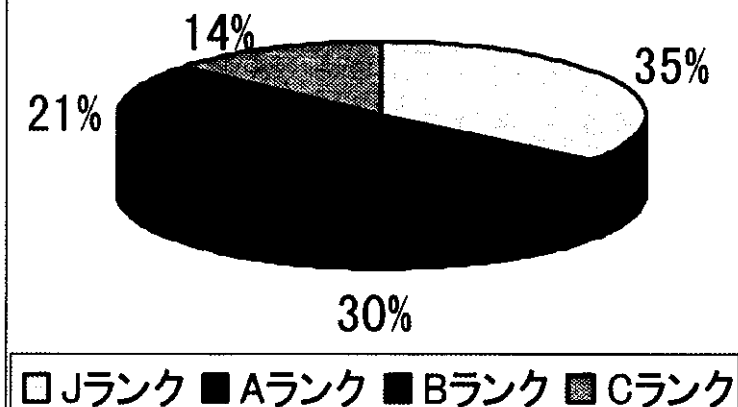
家族構成



主疾患

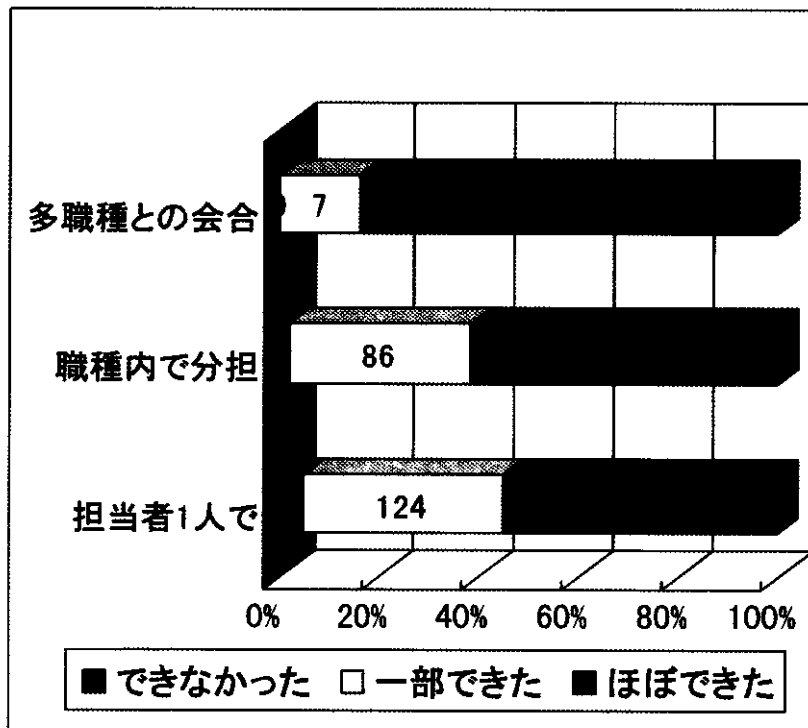


生活自立度



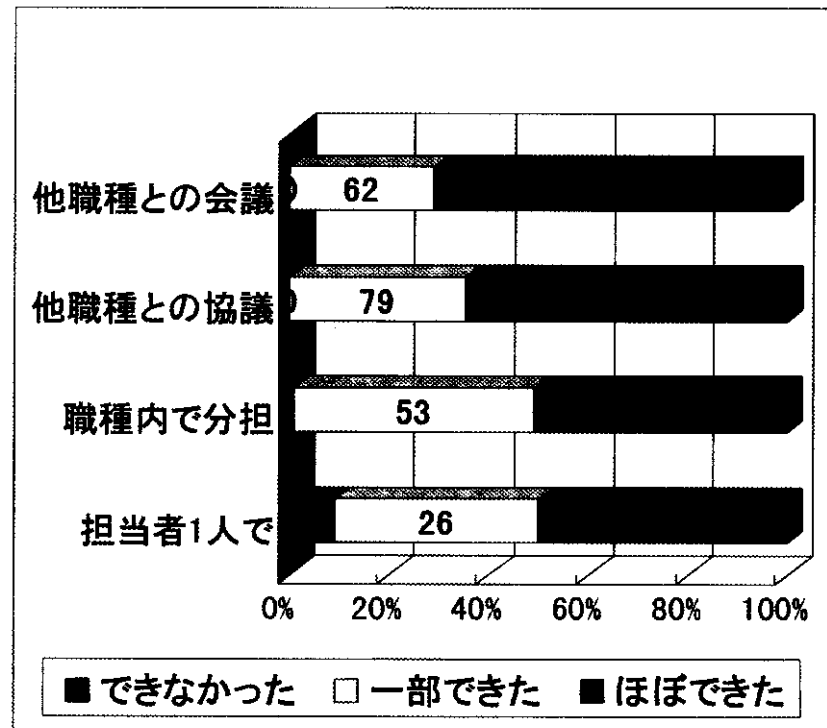
初期情報の確認・収集、ニーズ評価の成否等の成否等

初期情報の確認・収集



(N=588 R=0.131, p<0.001)

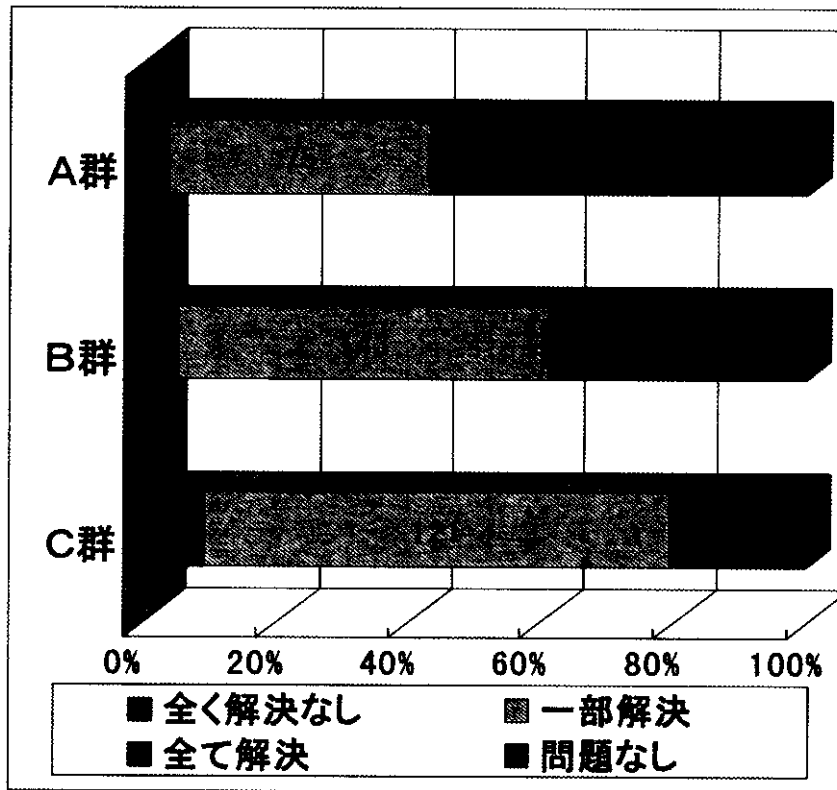
ニーズ評価の成否



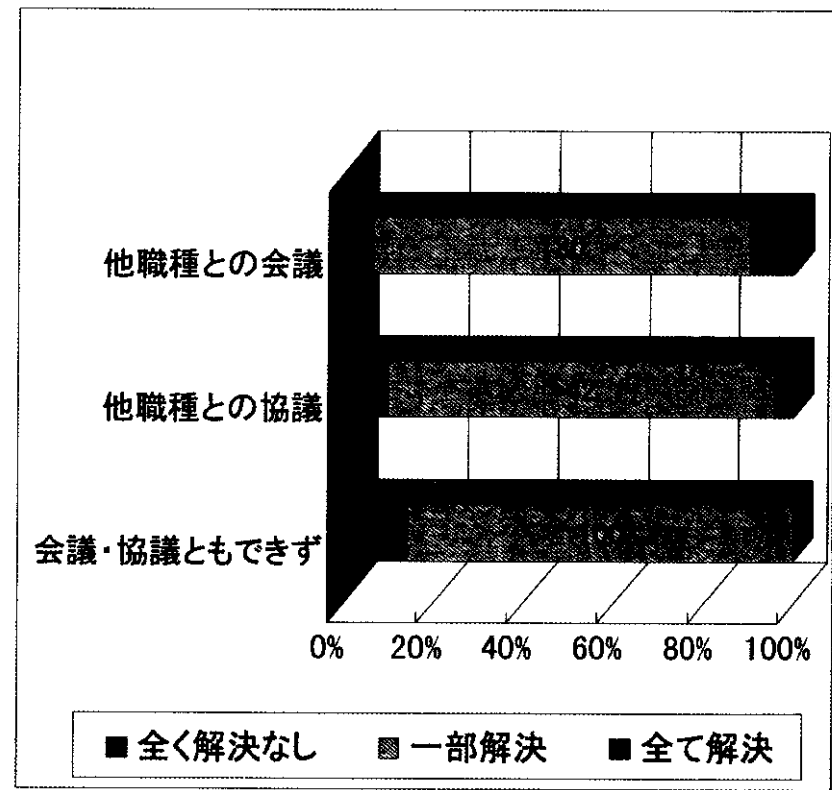
(N=611 R=0.135, p<0.0000)

(長崎医療短大・松坂、小倉リハ病院・浜村)

抱えていた問題の解決



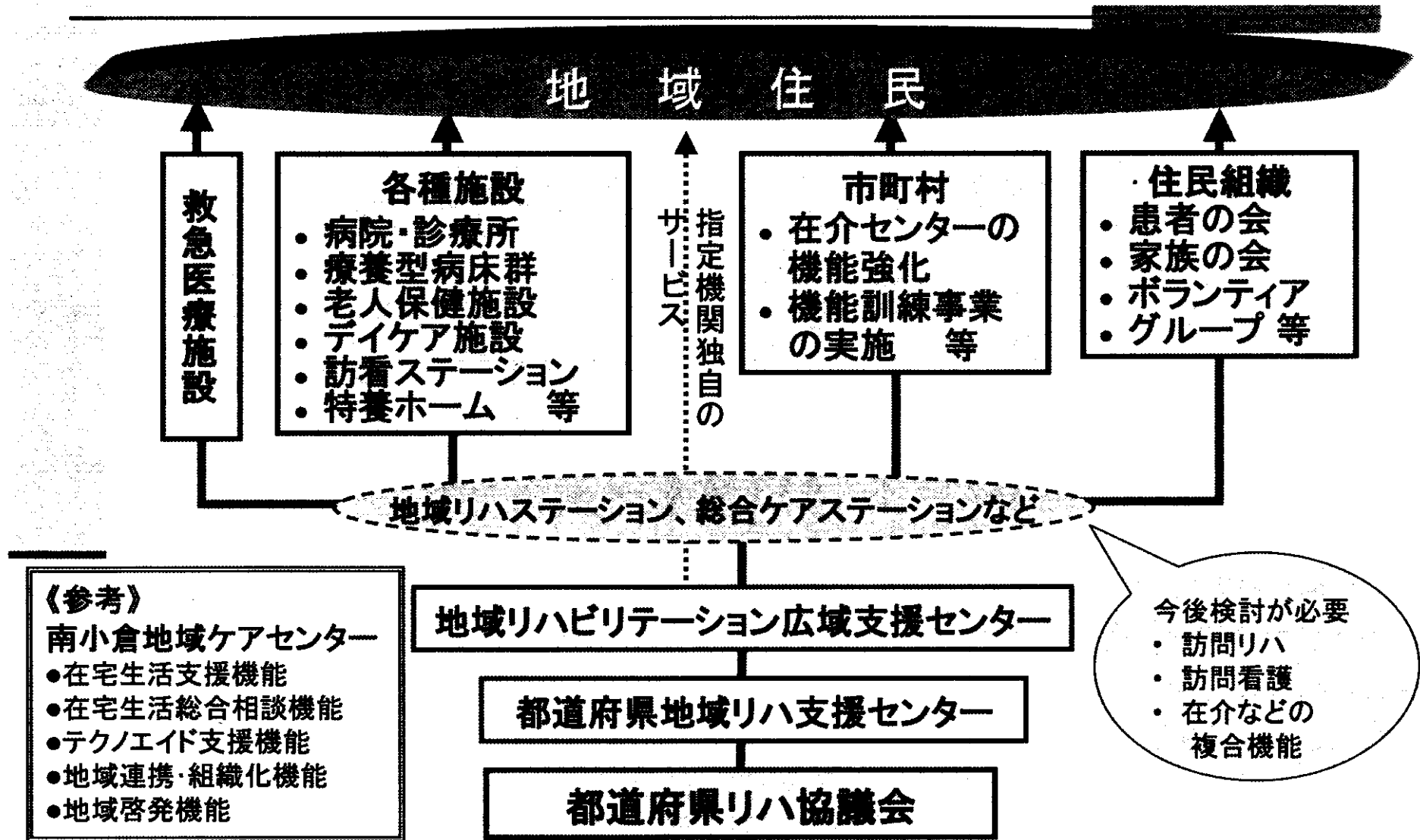
(N=615 R=-0.286, p<0.000)



(N=381 R=-0.203, p<0.001)

(長崎医療短大・松坂、小倉リハ病院・浜村)

今後の地域リハビリテーション支援体制をめぐって



地域リハ広域支援センターの機能

(地域リハ支援活動マニュアル)

1. 地域のリハ実施機関の支援
 - (1) 地域住民の相談への対応に係る支援
 - (2) 福祉用具、住宅改修等の相談実施に係る支援
(テクノエイド)
2. リハ施設の有効利用
3. 地域のリハ施設等における従事者への援助・研修
 - (1) 施設に出向いて行うリハ従事者への援助
 - (2) リハ従事者に対する研修
4. 地域レベルの関係団体、脳卒中友の会、リハビリクラブ等からなる連絡協議会の設置・運営